

令和3年(2021年)6月 花き部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2021年6月 数量	2021年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価	
1	キク	愛知県・長崎県が主要産地です。今年は高冷地産地が主力となり、入荷量は減少しました。平均単価は前年並みで推移しました。	696,275	57	88%	101%	
2	バラ	群馬県・愛知県・岡山県が主要産地です。高湿の影響により、入荷量は減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	101,378	65	84%	92%	
3	切花	カーネーション	北海道・コロンビアが主要産地です。作柄が良く、入荷量は増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	371,503	47	115%	107%
4		かすみ草	福島県・北海道が主要産地です。入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	50,325	84	108%	126%
5		グラジオラス	茨城県が主要産地です。作柄が良く、入荷量は増加しました。平均単価はかなり高く推移しました。	18,130	64	114%	128%
6		ペゴニア	神奈川県が主要産地です。高湿のため生育が良く、入荷量はかなり増加しました。平均単価は高く推移しました。	1,105	189	121%	112%
7	鉢物						
8							

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+)3~10%
- ③増加(減少):(+)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+)51%以上